

第9回離島対策等検討会 議事録

1. 日時 平成18年12月6日(水)10時00分～11時15分
2. 場所 日本自動車会館11階
(財)自動車リサイクル促進センター第2会議室
3. 現在の委員数 3名
4. 出席者 藤井座長、大杉委員、堀委員
以上3名全員出席
その他 (財)自動車リサイクル促進センター事務局、
環境省・経済産業省担当官
5. 議題 1)平成19年度 離島対策等支援事業資金出えん計画(案)
について
2)離島対策支援事業 要綱一部改定(案)について
6. 議事録

議題1)については、資料3「平成19年度 離島対策等支援事業出えん計画(案)について」を中心に、事務局より説明。

議題2)についても、資料5「離島対策支援事業 要綱一部改定(案)について」を同様に説明。

両議題とも了承された。

今後、資金管理業務諮問委員会に報告し、承認を得る旨を提案し了承された。

(主な質疑・意見は次ページをご覧ください)

【主な質疑・意見】

(注)◇は委員からの質問・意見 ◆は事務局からの説明

(1) 離島対策支援事業について

◇離島対策支援事業については、離島に自動車を有するほぼ全部の自治体から要請があり、また前年度に比べて申請台数も増えており評価できる。

(2) センターの活動について

◇センターのきめ細かな活動は、離島対策支援事業が対象地域の自動車ユーザー、関連事業者、自治体により広範に理解され、かつ適正な運用がなされる点において成果を上げつつあり、本スキームのよい点が発揮されつつある。

◆引き続き、本支援事業が対象地域において積極的に活用されるよう支援活動を行っていく。

(3) 突発事由等発生時の対応について

◇台風等突発事由が発生した場合の支援、および運用上の問題(締め切り期日等)が発生した場合の処理、要綱変更に伴う事務手続き的問題等には、柔軟に対応すべき。また、この制度の利用率を100%に近づけていく努力の最中であり、制度活用の普及等によって利用台数が増え、必要額が予算を超えた場合には、補正予算を組む等によって、しっかり対応し、制度に対する安心感が崩れないようにしてほしい。

◆ご指摘のとおりであり、今後も市町村の状況等を注視しながら、必要に応じ柔軟に対応していく。

(4) 不法投棄等対策支援事業について

◇不法投棄等対策支援事業については、関係機関における調整等に手間取っている。早期に対応できるような検討が必要。

◆主務官庁とも緊密に連携しながら、早期着手に向け関係機関への働きかけを強めていく。

(5) 広報活動について

◇センター支援事業を全国にアピールする必要がある。そのため、広報活動の更なる充実・強化が必要。各島の実情にあわせた方法を考えながら、積極的に進めてほしい。色々な工夫を始めようとしている点も評価できる。

◆支援事業のアピールの必要性についてはご指摘のとおり。これまでの実績を踏まえた形でのPR活動を現在検討中。

以上